

平成24年10月1日

各位

積水ハウス株式会社

\*\*\*\*\*

## 「グリーンファースト」の蓄電池ラインナップを拡充 「電力不足や防災」に対応するスマートハウスを拡販

\*\*\*\*\*

積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、社長：阿部 俊則、以下「積水ハウス」）は、10月1日(月)より、環境配慮型住宅「グリーンファースト」の蓄電池ラインナップを拡充し、従来の「グリーンファーストハイブリッド」（高耐久鉛蓄電池8.96kWh）に、LiB(Lithium ion Battery)システム（リチウム蓄電池4.65kWh）、V2H(Vehicle to Home)システム（EV(電気自動車)搭載蓄電池利用）を追加して、「電力不足や防災」への多様なお客様ニーズにお応えしてまいります。

積水ハウスが平成21年3月に発売した、安全・安心・快適で気密性・断熱性に優れた高品質な住宅に、太陽光発電システムや燃料電池を組み合わせた環境配慮型住宅「グリーンファースト」は、今や積水ハウスが発売する戸建住宅の84%を占めるに至っています。また、東日本大震災後の平成23年8月には世界初の3電池（太陽電池・燃料電池・蓄電池）の連携制御が可能な先進のスマートハウスとして「グリーンファーストハイブリッド」の発売を開始しました。我慢することなく快適に暮らしながら大幅な節電を実現できる「グリーンファーストハイブリッド」は、停電時にもエアコンが使えて入浴が可能など、普段に近い生活ができることが評価され、受注実績も1年間で累計300棟（8月末時点 318棟）に到達しました。

今回、より多くのお客様に蓄電池のある安心の暮らしをご提供できるよう、「グリーンファーストハイブリッド」の非常時の機能（エアコンの使用・入浴など）を制限してコストダウンを図ったLiBシステム（リチウム蓄電池）、及び、EV搭載蓄電池からの給電を可能にするV2Hシステムをラインナップに加え、非常時の暮らし方や蓄電システム価格の選択肢を拡大いたします。同時に、安全・安心・快適に暮らしながら、環境にも家計にもやさしく、節電社会に貢献する環境配慮型住宅「グリーンファースト」の販売・普及に注力してまいります。

### ■蓄電池を備えた「グリーンファースト」の3つのラインナップ

#### □最強の3電池連携システム ダブル発電+大容量蓄電池の安心・快適なシステム



日常の光熱費をほぼゼロに  
停電時には日常に近い暮らし  
非常時にも電気のある安全・  
安心の暮らしを実現

年間販売目標：300ユニット

#### □安心の2電池連携システム 太陽電池+リチウム蓄電池。燃料電池はオプション



日常は快適な節電  
停電時や非常時にも電気のある  
安心の暮らしを実現(非常  
時の機能に制限あり)

年間販売目標：600ユニット

#### □EV利用の先進的な暮らし EV(日産リーフ)を蓄電池として利用する先進システム ※EVは別途購入が必要



EVが家にあり、充電されてい  
れば、供給出力が大きいので、  
非常時にもIHクッキングヒー  
ターでの調理も可能

年間販売目標：100ユニット

本件に関するお問合せ先  
積水ハウス株式会社 広報部



(大阪) TEL06-6440-3021 (東京) TEL03-5575-1740



積水ハウスは環境省認定  
「エコ・ファースト企業」として  
「チャレンジ25」に取り組んでいます



■ 「グリーンファースト」のうち、蓄電システムを備えた仕様の比較表

	 グリーンファースト ハイブリッド  平成23年度 新エネ大賞 経済産業 大臣賞受賞	 グリーンファースト LiB NEW	 グリーンファースト V2H NEW
発売年月日	平成23年8月8日	平成24年10月1日	平成24年10月1日
電池種別・容量	高耐久鉛蓄電池 8.96kWh	リチウム蓄電池 4.65kWh	EV搭載電池使用 (リチウム蓄電池24kWh)
日常の蓄電池の動作	◎ 自動で深夜充電、日中放電 光熱費削減と日中の節電可 (4.4kWhを利用※1)	◎ 自動で深夜充電、日中放電 光熱費削減と日中の節電可 (2.3kWhを利用※1)	△ タイマーで深夜充電、日中放電 光熱費削減と日中の節電可 (EVが家にある時に利用可※2)
停電時	◎ 自動切り替え※1	◎ 自動切り替え※1	△ EVがあれば 手動切り替え可能
停電時最大出力	◎ 2.5～3kW (燃料電池出力による) 100V/200V	○ 2kW 100V	◎ 6kW 100V/200V
停電時の燃料電池連携	○ 可能	× 不可	× 不可
太陽光発電連携	◎ 非常用コンセントからでなく、 余剰電力を全量充電可能 ※3	◎ 非常用コンセントからでなく、 余剰電力を全量充電可能 ※3	× 充電不可
非常時(電気・ガスが停止)	◎ 大容量蓄電池と太陽光発電 の充電で晴天時連続使用可	○ 蓄電池と太陽光発電の充 電で晴天時連続使用可	△ 電池残量を使い切るまで は電力供給可能
HEMS対応	○	○	×
製造メーカー	株式会社GSユアサ	パナソニック株式会社	ニチコン株式会社
蓄電池価格(定価)	200万円 (パワコン・HEMS込)	170万円 (パワコン・HEMS込)	57万円 (給電システム価格)
国の補助金対応	HEMS補助金対象※5	リチウム補助金対象※4 HEMS補助金対象※5 (但し、太陽光補助金は対象外)	クリーンエネルギー自動 車等 導入対策費補助金
補助金支給後の実質価格	190万円	約120万円	33万円

※1 常に蓄電池には蓄電池容量の2分の1の電力を残しており、日中の放電直後など最も電池残量が少ない時に停電が発生しても、電力の供給が可能です。

※2 家にEVがなければ、日中のピーク電力削減(光熱費削減)はできません。

※3 太陽光発電システムとの連携ができなければ、非常用コンセント(最大1500W)の電力しか利用できません。

※4 定置用リチウムイオン蓄電池導入促進対策事業費補助金

※5 エネルギー管理システム導入促進事業費補助金(HEMS導入事業)

# 「ふだん」は、我慢することなく快適・経済的に。「万一のとき」には、電気が使えて安全・安心に。

## 日常

## 停電時

## 非常時 (電気・ガス・水道停止)

創エネ・蓄エネ設備を持たない

一般的な住宅



**我慢の節電**

暑くてもガマン、ガマン  
節電しないと・・・



**復旧を待つ**

テレビも、冷蔵庫も停止。  
携帯電話の電池も心配に。  
夜はロウソクや懐中電灯で暗く  
復旧するまで  
待つしかない・・・



**家での生活が困難に**

電気・ガス・水道が停止すると、  
家での生活は困難に。  
復旧するまで待つ  
選択肢もあるけれど、  
ひとまず安心な場所へ・・・

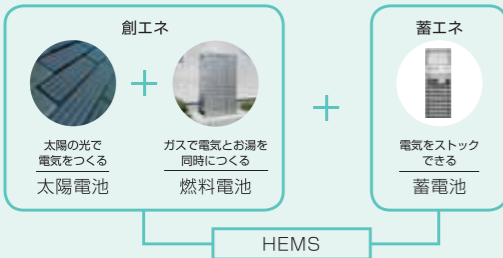
世界初\*の3電池連携システム

グリーンファースト  
ハイブリッド

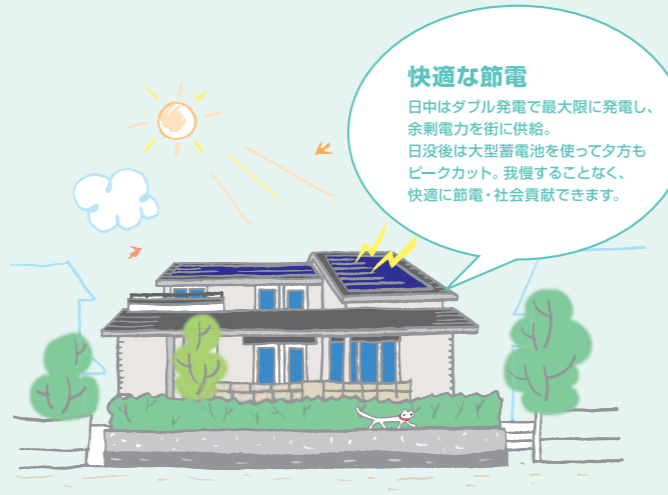


Green First HYBRID

ダブル発電+大容量蓄電池を備えた安心・快適なシステム。  
日常の光熱費をほぼゼロにするのと同時に、  
万一の災害時にも、電気のある安心の暮らしを実現します。



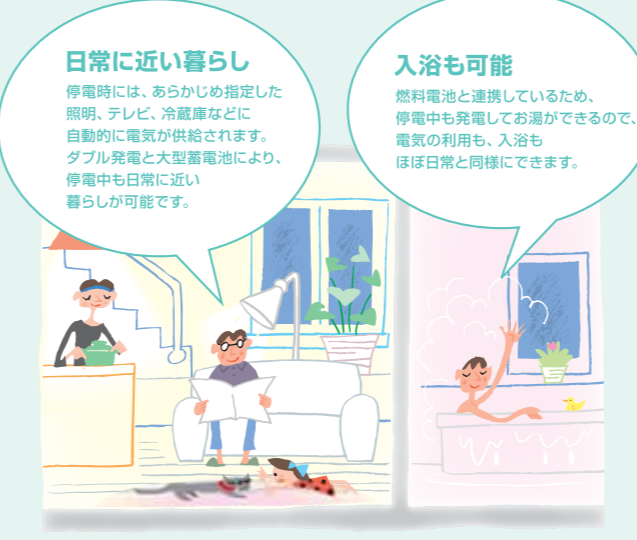
\* 2011年8月 積水ハウス調べ。



**快適な節電**

日中はダブル発電で最大限に発電し、  
余剰電力を街に供給。  
日没後は大型蓄電池を使って夕方  
ピークカット。我慢することなく、  
快適に節電・社会貢献できます。

蓄電池により年間最大1,460kWhのピークカット<sup>\*1</sup>が可能。



**日常に近い暮らし**

停電時には、あらかじめ指定した  
照明、テレビ、冷蔵庫などに  
自動的に電気が供給されます。  
ダブル発電と大型蓄電池により、  
停電中も日常に近い  
暮らしが可能です。

**入浴も可能**

燃料電池と連携しているため、  
停電中も発電してお湯ができるので、  
電気の利用も、入浴も  
ほぼ日常と同様にできます。

お風呂や床暖房も使え、日常に近い生活が可能。



**電気のある  
安全・安心の暮らし**

非常時には自動的に電気が供給されます。  
照明、テレビ、冷蔵庫などが  
ほぼ通常通り使えます。蓄電池は  
太陽電池で充電でき、晴れば  
毎日電気を使い続けられます。

冷蔵庫(200W)、大型液晶テレビ(150W)、照明(100W)で  
約17時間の利用が可能。<sup>\*3</sup>

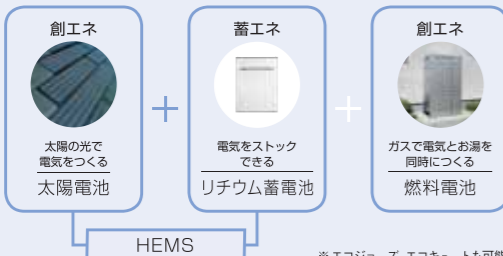
先進の2電池連携システム

グリーンファースト  
LiB

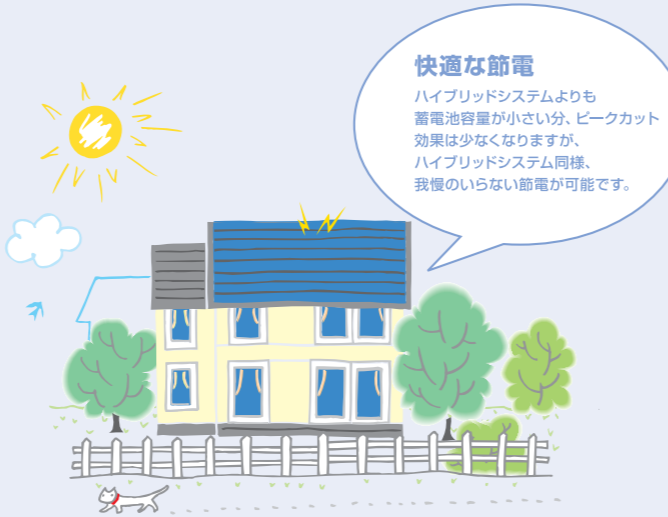
リチウムバッテリー

Green First LiB

ダブル発電+リチウム蓄電池を備えた安心のシステム。  
太陽電池と蓄電池の2電池が連携。容量は少なめですが、  
停電時や災害時にも電気のある暮らしを実現します。



\* エコジョーズ、エコキュートも可能。



**快適な節電**

ハイブリッドシステムよりも  
蓄電池容量が小さい分、ピークカット  
効果は少なくなりますが、  
ハイブリッドシステム同様、  
我慢のいらぬ節電が可能です。

蓄電池により年間最大730kWhのピークカット<sup>\*2</sup>が可能。



**電気のある暮らし**

停電時には、あらかじめ指定した  
照明、テレビ、冷蔵庫などに  
自動的に電気が供給されます。  
太陽電池と蓄電池により、  
停電中も電気のある  
暮らしが可能です。

\* 停電時は燃料電池が動かないため使える電力は少なく、入浴はできません。

電気のある安全・安心な暮らしが可能。



**電気のある安心な暮らし**

非常時には自動的に電気が供給されます。  
照明、テレビ、冷蔵庫などが使えますが、  
電池容量がハイブリッドシステムに  
比べ小さいので、使用できる時間や  
容量が少なくなります。  
蓄電池は太陽電池で充電でき、  
晴れば毎日電気を使い続けられます。

冷蔵庫(200W)、大型液晶テレビ(150W)、照明(100W)で  
約9時間の利用が可能。<sup>\*3</sup>

\*1: 1日4kWhの放電をピークカット時間帯(9時~20時)に365日行った場合。\*2: 1日2kWhの放電をピークカット時間帯(9時~20時)に365日行った場合。\*3: 各機器の消費電力は目安です。消費電力は製品により異なります。

EVを利用した新しい暮らし提案

グリーンファースト  
V2H

ブイーツーエイチ

Green First V2H



車が使用されていると使えないという弱点もありますが、電気自動車(日産リーフ)を電池として利用する先進のシステム(Vehicle To Home)。安い深夜電力で充電し、日中に住宅に給電すれば光熱費の削減も可能です。供給出力が大きく、IHクッキングヒーターでの調理も可能です。ただし、停電時に太陽電池の電気をリーフに充電することはできません。

**大容量の蓄電池**

24kWhもの大容量蓄電池を  
備えたEV。万一の時は、  
それを電源として使えるので  
安心です。

**IHの場合、  
非常時も調理が可能**

電気・ガスが止まっても、  
調理ができる。ただし、  
蓄電池を早く使い切っ  
てしまうという弱点も。

ほぼ1日分の家の電気を  
賄うことが可能。(オール電化の場合)

